

【ねがいましては】

平成14年1月28日

第141号

KYOWA SCHOOL

「はばたく力」

いまだにあの真剣な表情が鮮明に思い浮かびます。冬休みの間、この教室で繰り広げられた光景。「くりたのランチ冬期講習」と銘打って行われた学習会です。午前中より夜まで、約8時間に及ぶ勉強だけの時間は、彼らの、彼女らの真剣な時間へと変化して行きました。もちろん名のおりお昼ご飯は私が作るのですが、キャンプのときの「カレー」食べたさに参加した子もいるほど、確かにおいしいようです。お雑煮・おでん・カレー・から揚げ・おしるこ・牛しゃぶうどんなどなど、彼らの食欲は限りを感じさせません。ちなみに昨年は、この講習でにわかに太り、現在でもその体重をキープしている子もいるほど、たくましく太らせました。

今回のこの講習であらためて感じたこと・・・「彼らは心のそこから羽ばたきたいのだということ」です。目の輝きが違うのです。もっと早い学年からこの気持ちで勉強に取り組みたかったとすらやむ声が多く聴かれました。

巣立ちのときを迎えた幼鳥、ひとり立ちへ向けての真剣な戦いに、私たち「人」は感動を覚えます。まさにその光景に出会ったのです。「割合」という一つの単元に中学3年から小学5年生までが、真剣に取り組めます。そして教えあう、助け合う姿がありました。そのときの「眼」・・・

それが巣立ちのときの「眼」なのです。勉強に対する「煩惱」をすべて投げ捨てた姿が、私の心を熱くさせました。勉強に対する「煩惱」とは、私の場合、競争・母親の反応・間違える事の劣等感などです。そのすべてが今の義務教育の現場では、しっかりと根付いたままです。そして進学のための大手の進学塾もその例にもれません。競争意識を駆り立てる事で、やる気を出させるのは管理者にとっては一番簡単な事です。

私がこの教室ではっきりと見たもの・・・「彼ら、彼女らは歩きたかったのだ」

なあ君たち、このこと忘れないと思う。自分の気持ちで歩くことのすばらしさを知った事。きっと数百人の中のひとり。いや、ひょっとしたら数千人の中のひとりかもしれません。自分の意志で歩くことの充実感を知ったのです。

本物の輝きを見せてくれたあなたたちに、またまた言わなければならない言葉・・・

「ありがとう」

自分歩き・・・この先も自分歩き、教えあう・助け合うあの真剣な瞳。

ふとある生徒さんから聞いた事、「先生、〇〇さんの年賀状に書いてあったのだけれど、この教室を紹介してくれてどうもありがとうって。」

言葉がありません。この仕事をしている者として最も有りがたいこと。

まじめさんは、この世の中で一番の幸せさんです。わたしはこれからもずっとずっとこのことを言い続けてゆきます。改めてありがとう。

おめでとう！ 早稲田紗弓さん 高校特待生推薦合格（親孝行してね！）

2月の予定

2月11日（祝） 東京湯島天神にて、「ちびっこそろばんまつり」この教室からは5名の人が代表で出場します。今年初めて「フラッシュ暗算大会」があります。

2月中旬～後半 私、栗田は、東京の小学校2校へ「そろばん」を教えに行ってきます。
本音・・・そろばんはもちろんですが、灰谷さんの「チュウインガム一つ」読めたらいいななんて思っております。

2月より兼ねがね計画していました「種目別塾内検定」始まります。（フラッシュ暗算）もあります。